

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	令和2年度第2回清須市生涯学習推進計画検討会
開催日時	令和2年9月29日（火）午後2時～3時15分
開催場所	清洲市民センター 集会室
議題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>（1） 清須市生涯学習推進計画（中間見直し素案）について</p> <p>（2） 清須市生涯学習推進計画（中間見直し）策定スケジュールの確認について</p> <p>3 その他</p>
会議資料	<p>会議次第</p> <p>清須市生涯学習推進計画（中間見直し素案）</p> <p>清須市生涯学習推進計画（中間見直し）策定スケジュール別添1 委員名簿</p>
傍聴人の数	0人
出席委員	大村委員、岡松委員、富田委員、後藤委員、河合委員、吉田委員、中田委員、西尾委員
欠席委員	和田委員、河野委員
出席者（市）	齊藤教育長、加藤教育部長
事務局	<p>（生涯学習課）</p> <p>辻課長、藤田課長補佐、齋藤課長補佐、杉野森係長</p> <p>葛西主任主査、高味主査、近藤主事</p> <p>（スポーツ課）</p> <p>浅野課長、石田課長補佐</p>
会議の経過	<p>1 あいさつ</p> <p>（齊藤教育長、大村会長よりあいさつ）</p> <p>2 議題</p> <p>（1） 清須市生涯学習推進計画（中間見直し素案）について</p> <p>○大村委員</p> <p>それではただいまより次第にそって検討会を進めさせていただきます。</p> <p>議題(1)「清須市生涯学習推進計画（中間見直し素案）について」事務局から</p>

説明をお願いします。

●事務局

資料に基づき説明

○大村委員

只今、事務局より説明がありました「清須市生涯学習推進計画（中間見直し素案）」について、ご質問、ご意見をいただければと思っております。本日欠席の和田委員から文書で意見が出ておりますので。事務局の方で読み上げをお願いします。

●事務局

では、代読させていただきます。5ページ、6ページの第2章生涯学習を取り巻く状況、1社会動向・国の動きの中（8）持続可能な開発目標（SDGs）の実現の項目の説明が、図もあり、関連する目標を挙げわかりやすいため、（7）Society5.0についての説明を（8）のようにしてほしい。（9）コロナウイルス共生時代で変わる生涯学習の学び方では、学び方が変わる非常に重要なテーマのためもう少し詳しくお願いします。

15ページでは、4清須市生涯学習推進計画の推進状況、（1）自主的な学びを活性化するために、「清須市生涯学習推進計画」の推進状況の表中、1生涯学習活動を活性化するために、取り組み内容・課題等で、近隣のK市には10年前から「少年少女発明クラブ」があります。今後の「少子高齢化」「労働力減少」の社会において、「生きがいのある日々」と「安全安心な社会」を実現するためには、「ナレッジ・ワーカー」といわれる「社会に有益なモノやコトをもたらす人」の育成が急務であると思っております。これは「子供のうちから、今までにないものを作り出す能力の育成」が必要です。「生涯学習」という言葉は「一生学び続ける、学び続けられる」というイメージが強く、幼年期の学習の必要性についてのイメージが弱い気がしますので、どこかに「子供のうちから、今までにないものを作り出す能力の育成」というような文言を入れてください。

22ページ、第4章基本施策、施策1生涯学習活動を活性化するためのうち、26ページ（5）読書活動を推進するための取り組み、【育ち・学びの世代】表中の乳幼児期0歳から3歳までの子供と保護者に対する教育の充実の中に、清須市が、最初に、現在まだ他の市町ではやっていないが、将来、必ず行わなければならない取り組みをやってください。

29ページ、施策2文化芸術活動を活性化するための【今後の方向性】として、はるひ美術館にて、文化は「過去を継承にすること」は勿論大事ですが、今の時代から未来に向けて創出していく意識と環境が必要です。子供向けの絵画展やアート展も企画していただき、瀬戸市の将棋クラブのように、子供から

大人までが芸術に興味を持てる環境を整備してほしい。はるひ美術館を有効活用として、2階スペースでワークショップが常時行える企画作りも検討していただきたい。サタデーキッズで、もっとはるひ美術館を使っていただきたい。指定管理者の収益につなげなければならないため、有料にはなりますが、市が援助する仕組みを考えてください。また、子供の「音楽教育」として楽器演奏や作曲についての学びの場を清須市において充実しなければならないと思います。演奏会や作曲や編曲のコンテストやオーディションを市が開催することで、市民の音楽に対する興味を向上させることができます。

41, 42ページ、基本目標2誰もが活躍できる社会を実現するために、施策1男女共同参画社会を実現するための(2)女性リーダーの育成について、この取り組みは0歳児から必要です。具体的な「女性リーダー」がすることの例をここに示してください。

43ページ、施策2青少年も活躍できる社会を実現するための中で、近隣市の「少年少女発明クラブ」や瀬戸市の将棋クラブのような小さい子から高齢者までもが一緒に打ち込める具体的な「目標」をここに挙げていただきたいと思います。

48ページ、第5章計画の推進体制、1PDCAサイクルによる計画の評価・検証において、PDCAサイクルの図がありますが、この図の上に【SWOT分析とTOWS分析の図】を付け加えていただくと、現状をしっかりと把握した上で、指針や施策を決定していくことができるようになります。現状が抱える問題点、現状を変える方法、将来にわたって起こる可能性のある状況、プラン策定においては、これらの、漠然とした問題を【関連付けて整理】しなければなりませんので、SWOT分析とそれに対する戦略策定のためのTOWS分析が必要になります。以上となります。

○大村委員

それでは他の委員の皆様にもご意見をいただければと思います。

○岡松委員

素案を見せていただいて、コロナ禍において今現在、企画しているような催し等々中止せざるえないことばかりが現状だと思います。その中でコロナがどのように終結していくのか考えると、まったく先が見えてこない。その状況下での中間見直しですので、コロナ禍の状況下においても実行出来るような事を具体的に盛り込んでいった方が良いのではないのでしょうか。コロナ禍において感染防止対策をしっかりとしながら施策を展開していくというのは盛り込まれているのですが、コロナが継続した中で展開していくというのをもう少し盛り込んでいった方が良いのではないかと思います。

○富田委員

文化協会においてもコロナの影響で、年内の行事はすべて中止となりました。会員の皆さんはそれぞれの事業を目標にして一年間頑張っておられた方々ばかりですので、コロナが今後どのような状態になるか分かりませんが、形を変えてもコロナに対応出来るような形で考えていただきたいと思います。

○後藤委員

施策4のスポーツ活動を活性化するためにでも書いてあるようにスポーツを行う人が減少傾向にあるとありますが、体育協会の会員も減ってきており、子どもたちの年代からスポーツを行う人がかなり減っているのではないかと思います。コロナが終息してもスポーツを行う人が増える確証はなく、清須市のスポーツの施設の拡充や整備などをしていただき、目を引くようなイベントやブームになるようなことが起きると生涯学習も目標が持ちやすいのではないのでしょうか。また、和田委員のご意見でもありましたが、幼い頃からの教育と言う事も大切だと思います。

○吉田委員

コロナで今年は様々な事業が中止になりました。でもこの先、コロナだけでなく他の新型ウイルスなどが出る可能性もあります。その場合はどうするのかという事をもっと具体的に考えた方がよいのではないのでしょうか。

あと、和田委員の意見にも、幼いうちから身につけていけるものとありましたが、人材バンクなどを活用してサタデーキッズなどで手に職を持った祖父母世代を活用していただいても良いのではないかと思います。

春日地区には美術館と図書館があります。そこに隣接している夢広場はるひを活用して市民がそこに行ったら何か出来る。誰かに会える。そのような場にしていただきたいなと思います。

○中田委員

43ページに「おやこふれあい広場」の活動指標が載っておりますが、コロナの状況下でも形を変えて開催でき、例年より参加者が多いです。参加者に聞くとコロナ禍でどこも行くところがない、歩いて行けるように各地区で開催してもらえると助かるなどと聞きます。清須市の柔軟な対応も大切だと思います。

○西尾委員

コロナによる生活様式にもようやく慣れてきたところです。そんな中でお母さん方から「学校が休校になった事で他の保護者と話す機会もなかった」という話を聞きます。学校とのコミュニケーション、友達のお母さん方とのコミュニケーション、やはり学校を話題にしてコミュニケーションをとるところがございますので、学校がコミュニティの拠点になるという事がよく言

われますが、再認識いたしました。

部活動の方に話を移しますと、現在、部活動はすべて教員の方で行っております。特に中学校の部活動は子どもに与える影響が非常に大きいものです。そんな中で教員の働き方改革で、平日は今まで通り教員、休日は外部指導者が行うと言っております。私の個人的意見ではございますが、平日は教員、休日は外部指導者となりますと、子ども達にとっては指導者が違いますので、当然、指導方針も違います。子ども達が非常に戸惑うのではないかと思います。あと、外部指導者がそれだけ集まるのかと言う思いもあります。一つの方法なのですが、スポーツ活動を活性化するためということで、計画書にもございますが清須市内のスポーツクラブを母体にして、受け皿にさせていただいて休日は主にそこで活動するとなれば、平日は学校の活動として教員がみる、休日については個々ではなく市全体のスポーツクラブの活動という括りでいけば文科省の言っている事も入ってくると思います。せっかくスポーツ活動を活性化するという項目がありますので、この青写真をはっきりさせていただいて取り組んでいただけると学校もさらに助かると思いますので、よろしくをお願いします。

○大村会長

それでは私の方からも意見を述べさせていただきたいと思います。コロナ禍においての生涯学習というといくつかあると思いますが、個人や家族が孤立してしまうことをどう食い止めるか、逆にそれを力に変えていけるかということで、一つは自粛警察ですとか、感染者への差別とか、文化的な狭さとか、他者を容認しない心持ちが広がっている事に対して、文化の力でそれを乗り越えていけるのではないかと考えています。それは多様性であったり、少数者であったり、あるいは難病とか、今回は感染者ですが、そうした弱者に対して手を繋いでいく、きちんと理解していくというような多様性理解、あるいは多文化共生ということでもあるのですが、そうしたお互いを理解する力をどう市民の間でつけていくのか、そういった視点が一つ必要かなと思っています。これは子どもということで考えれば、学校、あるいは保育所ということになるのですが、実際には大人達の行動が極めて重要だと思うので、大人にとって他者を受容する、理解するそうした視点がこの施策のあらゆるところで追求していただくことが必要なのではないかということが一点です。それから二つ目はさきほどふれあい広場が地域であればよいという話があって、先回も少しお話したと思うのですが、歩いて行ける地域的なつながり、徒歩圏内の地域社会に活動の拠点がないと、コロナのような状況になった時にはすべてストップしてしまうというわけですね。歩いて行ける圏内で、顔見知りで、安心できる人間関係、その中で活動が継続出来るという

ことがあると思いますので、徒歩圏内で活動できる場所をどう確保していくのか、そういう視点をスポーツにおいても、文化、様々な活動においてもいえることだと思います。そこで地域学校協働活動に取り組んでいくと書かれていますけど、現在の素案ですと学校支援地域本部と地域学校協働本部が両方ある形で、市としてどういうふうに整理していくのか見えにくい、今の文部科学省、全国的な取り組みとしては地域学校協働本部として一本化していく方向であるので清須市としてもそれについて検討いただいた方が良くないと、それに加えてコミュニティスクールとの関連性がこの中に触れられていない、コミュニティスクールと地域学校協働本部を一体的に運営していくというのがこの施策の大事なところで、学校が地域とともにある学校に変わっていかなければならない、そのような考え方でいくと学校がもっと住民にとっても使いやすくなるし、子どもの遊び場としても機能する、そういった空間になりえるだろうと思っています。地域学校協働活動あるいは本部については書かれているのですが学校との関係が十分に書かれていないのがちょっと残念なところで、さきほどの学校支援地域本部との関係性、コミュニティスクールとの関係性も視野に入れた施策を提案していただけるといいのではないかなと思っています。それから3つ目になりますかICTの事も重要で学校の方では一人一台のタブレットを用意しているという事なのですが、ここで情報格差の問題がどうしても出てくるのです。家庭の環境や文化によってICTにのっていける子ども達と、うまくのれない子ども達の格差がどんどん開いてしまう。なるべくそういう格差が起こらないようにするには、子どもに対する支援だけでは不十分で子育て中の親に対しての支援がなされないと、学校から帰ってきた子どもがICT機器を使って勉強する、生涯学習する、何か政策する、そういう時に保護者と一緒に取り組めるような家庭になっていって欲しいとなるとICTの講座であるとか、環境が社会教育の中であって、オンラインあるいはオンデマンドで、そうした講座に親子で参加できる事が出来ないだろうかと思います。これはそれぞれの活動内容で文化であっても、それぞれの学習活動であっても、スポーツでも子どもの体操とかもオンラインあるいはオンデマンドでも出来ます。そういったICT環境をすべての子ども、すべての家庭で樹立させようといった視点をとりいれていただけるとありがたいなあと思います。もう一点は最後評価のところでは社会教育委員の役割が書かれているのは非常に大事だと思っています。つまりPDCAサイクルが社会教育委員がこの計画の検証をしていくんだ、という事は非常に大事だと思うのですが、他の市民が参加をしていく仕組みもこの中に入れていただいた方が良くはないかなと思っています。それは子どもも、大人もという事なのですが、そういった形で参加していく事によってこの計

画が市民のものになっていくと思いますので、ぜひこの点もご検討いただけたらと思います。私からは以上になります。その他委員の皆さんからご意見ありますか。よろしいでしょうか。それでは議題の1についてはここまでとさせていただきます。議題2に移らせていただきます。

(2) 清須市生涯学習推進計画（中間見直し）策定スケジュールの確認について

○大村委員

続きまして、議題(2)清須市生涯学習推進計画（中間見直し）策定スケジュールの確認について事務局から説明をお願いいたします。

●事務局

資料に基づき説明

○大村委員

只今、事務局より説明がありました清須市生涯学習推進計画（中間見直し）策定スケジュールの確認について、皆様のご意見ご質問がございましたら、お願いいたします。特にもないようですので次に移ります。

その他

○大村委員

その他について事務局より、何かございますか。

●事務局

特にございません。

○大村会長

全体を通して何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。質問等もないようですので、本日の第2回清須市生涯学習推進計画策定検討会はこれで終了いたします。

ご審議ありがとうございました。議事進行を事務局へお返しいたします。

●事務局

大村会長ありがとうございました。又、委員の皆様におかれましても、熱心に審査・審議をしていただきまして、ありがとうございました。以上を持ちまして、第2回清須市生涯学習推進計画策定検討会を終了させていただきます。

会 議 の 結 果

会議の経過に示したとおり

問 い 合 わ せ 先

教育委員会生涯学習課

0 5 2 - 4 0 0 - 2 9 1 1